

未来への責任

葛飾区議会議員候補

立憲民主党公認

連合東京推薦

ともに創ろう
共生社会

かわごえ誠一



SDGs・持続可能な 葛飾を未来へつなごう！



かわごえ誠一オフィシャルサイト
www.kawagoeseiichi.com



新型コロナウイルス感染症から、より良い未来を目指します！

Build Back Better コロナで表面化した格差を解消し、誰一人取り残さない社会を目指します。

- ◆新型コロナウイルス感染症 COVID-19 の第6波に備えた体制整備・後遺症対策・産業振興などを進めます。
- ◆〈Build Back Better〉とは、東日本大震災の後に「より良い復興」と訳された言葉です。新型コロナウイルス感染症の拡大は社会的に弱い立場の方々への影響がより大きく、隠されていた格差が浮き彫りになりました。単にコロナ前の社会に戻すのではなく、格差の解消などコロナで明らかになった社会の課題を解決し、SDGsの理念でもある「誰一人取り残さない」社会を目指し、過去よりもより良い社会・より良い葛飾区を実現します。

私たちもかわごえ誠一さんを応援しています。

多様性を認め合い、働く人たちの汗が実る社会を目指すため、かわごえ誠一さんの活動に期待しています。



参議院議員
小沢まさひと



参議院議員
なんば奨二



立憲民主党代表
枝野 幸男



立憲民主党代表代行
蓮舫



参議院議員
塩村あやか



連合東京会長
杉浦 賢次

かわごえ誠一事務所
連絡先

〒124-0012 東京都葛飾区立石 3-31-8
TEL 03-6662-8686 FAX 03-6662-8685
e-mail info@kawagoeseiichi.com

◆頒布責任者：川越誠一 東京都葛飾区立石 3-31-8

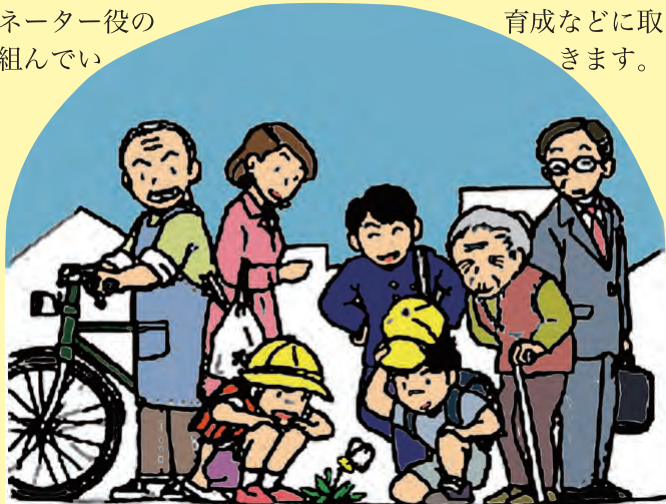
◆印刷者：株式会社十二社・東京都新宿区西新宿 4-29-6

かわごえ誠一 せいいち

かわごえ誠一の目指すビジョン

◆社会のつながり・関係性を厚くする

◆様々な課題や生きづらさなどを抱えた人が地域の中で共に支え合う「地域共生社会」の実現を目指します。そのためには地域社会の中でのつながり（ソーシャルキャピタル）が大切です。社会のつながりをつくるためには、地域の中で人が集える場や、課題ごとに集まれる場を数多く作る必要があります。そのために空き家などを活用した拠点の確保、社会的課題を学ぶ場の提供、それらをつなげるコーディネーター役の育成などに取り組んでいきます。



◆家庭が抱える課題への支援

◆高齢者虐待、8050問題、ひきこもり、ヤングケアラー、児童虐待など今まで家庭内に隠されてきた課題が表面化してきました。これらの課題は社会から孤立していたり、様々な背景が絡み合い、支援機関が多岐にわたることも少なくありません。そのような課題に地域の中で気づく「目」を増やすことや、適切な支援につなげる体制の構築が急がれます。区民や多様な関係機関が課題を共有し、連携する体制づくりを進め、的確な支援につなげていきます。

◆困難を抱えた子ども・若者を支援

◆8年前に議員になった直後、若者支援に取り組もうとした時、担当部署が無いと言われました。その後、所管部署＝子ども応援課の設置や、計画策定などを実現してきましたが、困難を抱えた子ども・若者の課題は山積しています。例えば高度経済成長期の終身雇用社会では企業が若者の職業教育なども担っていた面もありましたが、現在の非正規・短期雇用が広がる中で社会的スキルを身につける機会が減り、生涯において就労の選択肢が限られる状況が浮き彫りになってきました。そのような社会的背景も視野に、時代に対応した子ども・若者支援を構築する必要があります。

◆立石全体のグランドデザインを

◆京成押上線立石駅周辺の連続立体高架化工事が進み、まちが変わりつつあります。駅前も含め、まちづくりの合意形成を進める必要があります。周辺にあるシンフォニーヒルズなどの公共施設、緑地公園や中川などの環境、商店街や町工場などの産業、交通環境の整備の他、住民の交流の場、歴史の継承など立石全体のまちをどのようにしていくか、立石に特化したグランドデザインを描いていきます。また、立石の地名の由来となった立石様を歴史公園として整備し、立石の歴史の継承と地域の発信をしていきます。

◆河川の活用・周辺環境整備を

◆川のまち葛飾。その川を観光・交通などで活用するため、また中川七曲がりなどの周辺環境整備、災害対策、生物多様性保全を計画的に進めるため、河川計画を策定します。

◆葛飾の歴史・文化・芸術振興を

◆葛飾区の歴史を知る方が年々少なくなる中、地域の記憶の継承が急がれており、地域の歴史の記録化を進めます。また、文化・芸術は様々な人やものをつなげる力があり、区内で活動するアーティストとの連携や障がい者アートなどの支援を充実し、文化・芸術のまちづくりを進めます。そのために歴史・文化・芸術振興計画の策定を目指します。

◆参画・協働の推進を

◆より良いまちづくりを進めるためには、住民参加・協働が重要です。社会的課題に取り組む当事者や支援者との連携をはかり、協働の体制整備を進めます。そしてかわごえ自身も区民の皆さんと共に考え、行動してまいります。



かわごえ誠一 プロフィール



●1963年3月川崎市高津区生まれ ●東海大学第二工学部建設工学科卒 ●立石在住33年 ●保護猫など猫5匹・犬1頭と同居 ●防災士 ●本田消防団第四分団班長 ●葛飾区ポッチャ協会会長 ●元東京工業大学附属科学技術高校非常勤講師 ●学童保育増設、保田養護学校存続、三番瀬保全活動などを経験し“気がついた人が動かなけれ

ば変わらない”ことを実感する。 ●学童保育・保育園父母会、小・中PTA連合会、子育てネットワーク、図書館友の会、学校図書館ボランティア、おやじの会などに携わる ●都議会議員秘書を経て2013年11月区議選で初当選・現在二期目 ●所属：文教委員会副委員長、地域活性化・区民サービス向上対策特別委員会、広報委員会

かわごえ誠一オフィシャルサイト www.kawagoeseiichi.com